



季刊「実験工房N N C」
2011年冬号



j i k k e n k o u b o u

ショートムービー「帰らない女」台本

○ タイトル入 「帰らない女」

○ 洒落たスポーツカーが、**山を走る（夜）

○ その、中

運転手は男、助手席に女。

男 「（冗談っぽく）今夜は帰しません。絶対にね！」

○ 深まる山中

女 「（男に）どこまで行くの？」

男 「絶好のスポットを用意してあるから」

女 「期待を裏切らないでね」

男 「裏切らない」

○ 停車しているスポーツカー

○ 山中

男、女を案内して、

男 「ほら」

樹木に、首吊り縄がセットされている。

女、辺りを見て、

女 「いいセンスしてるじゃない」

男 「でしょ」

女、縄に触れながら、

女 「縄の強度もいい感じ。

ホント、今夜は帰れそうにないわ（微笑み）」

○ 暗転

ロゴ 「実験工房NNC」入。

(了)

ショートムービー「帰らない女2」台本

- タイトル入「帰らない女2」
- 山中の、見晴らしの良い場所、絶景
- そこへ、男と女が来る
二人、眼下に景色を眺めて、

女 「すごいイイ眺め」

男 「だろ」

女 「ホント、飛び降りるには絶好の場所だわ」

男、しゃがみ、リュックからノートとペンを取り出して、

男 「お前、体重50キロないだろ？」

女 「うん」

男 「ま、とりあえず50キロで計算しとくわ （ノートを書き書き）」

女 「何してんの？」

男 「ここって高さがxxメートルだから、

重力加速度考えて、

うん、お前が地面に激突するときのスピードは

時速xxキロだね」

女 「ちょっと、素敵じゃないの」

(了)

ピロリ菌賛歌

そう おまえはいつも 俺のなかにいた

おまえは誰よりも俺を 知っている

こんなに俺はおまえを愛しているのに

おまえは俺を 傷つける

俺は おまえを殺すだろう

おまえは 子どものころから俺を 知っている

俺は 子どものころからおまえを 知っている

川の水を飲んだときから はじまった

この狂った愛を 俺は終わらせる

錠剤飲んで一週間

さようなら

ピロリ

さようなら

ピロリ

おまえが俺に残したもの

慢性胃炎

(了)

とうもろこし好きの彼氏

え？

今コーンサラダを食べたって言わなかった？

もしかして今、とうもろこしの栄養で、息をして

とうもろこしの栄養で、話をして

とうもろこしの栄養で、恋愛してるの？

じゃあ、今のキスは、とうもろこしの力を借りたってことね！？

そんなことするなんて！ やっぱり私、あなたを信用できない。

でも... 枝豆に変えてくれたら、また好きになるわ。

大根好きの彼氏

「君のために生きてい」って？！

そっかあ。

じゃあ、おでんのダシに

私の大好きな納豆といちごを入れてみて。

あなたを入れて煮詰めて、

私色に染まったら、

ちょっと食してみたくなるかもね。

どう？覚悟はできた？

シュークリーム好きの彼氏

彼が言ったの。

「仕事帰りにコンビニでシュークリームを買って帰って、
家でゆっくり食べるのが幸せ。
でも恥ずかしいから内緒ね。」

私はね、もしシュークリームをもらったら
まず冷凍庫に入れてね、
次の日に取り出して、
皮をゼンブ剥いで、
ゴミ箱に捨ててね、
中身のカスタードクリームの部分だけを
スプーンでほじって食べるの。
恥ずかしいから内緒ね。

きっとあなたは私と一緒にいられないわね。

季刊「実験工房N N C」2011年冬号

<http://p.booklog.jp/book/33648>

著者 : jikkenkoubou

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/jikkenkoubou/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/33648>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/33648>

実験工房N N C「公式ブログ」

<http://ameblo.jp/jikkenkoubou/>

電子書籍プラットフォーム : ブックログのpapier (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社paperboy&co.